

民報 ゆうばり

南空後援会 4市5町をキャラバン

夕張労連定期大会「人間らしく暮らせる社会を」

南空知後援会が地域訪問 4市5町30か所で訴え

9月8・9・10の3日間で、管内すべての4市5町を訪問し、合計30か所で街頭からの訴えをしました。

コロナウイルス感染症の拡大のため、7年続いた南空知後援会の恒例行事「さくらまつり」を断念し、代わって、南空知後援会として、「地域訪問キャラバン行動」をすることを決めました。

後援会独自の宣伝車を用意し、事務局4名がそれに乗り込み、広い南空知全



由仁町

の街を回りました。



夕張市

スタートは、夕張でした。メロード前・拠点複合施設「リすた」まえ・若菜商店街・末広「かね安

新たな福祉国家路線を 一緒に作りましょう！

横の4か所で後援会からの訴えの声をあげました。

初日と二日目は、9月には不似合いの湿気と強い残暑の中、最終日は、小雨の降る中でしたが、3日間の全日程を無事終了しました。



南幌町

現在、9月議会の真っ最中、くまがい桂子夕張市議は、9日が議会質問日です。



美唄市

コロナ禍社会だからこそ人間らしく働ける社会を～職場に元気、地域に活気を！憲法守り・活かす社会へ～

第32回夕張労連 定期大会開催

9月6日(日)夕張市拠点複合施設「リすた」において夕張労働組合総連合(夕張労連)の第32回定期大会が開催されました。大会は議長に年金者組合の滝口光男さんを選出し、議事日程に沿って進められました。

最賃ゼロ回答 非正規に厳しい生活 主催者あいさつに立った筒井議長は大会開催にあたり、情勢の特徴を二つの側面から指摘しました。

「一つは8月28日に安倍総理が辞任したことに関連してマスコミが取り上げる辞任関係の報道は安倍政治の国民騙しの問

題点を指摘すること無く、自民党内の後継者選びに関することに時間を割いている。国民が本當に知りたい事を取り上げようとしていない」と指摘し、さらに「もうひとつの問題は7月に出席された中央最低賃金審議会の答申が目安を示さなかったことよって、各都道府県の審議会も賃上げを見送ることになり、コロナ禍にあつて厳しい生活を強いられる非正規・臨時雇用の人達がさらに窮地に追い詰められている」と強調し、この定期大会はそれらの情勢を的確に捉え運動方針を決めることと提起しました。

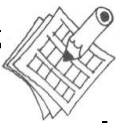
安倍政治のおわりを総選挙共闘勝利で続いて来賓として参加した日本共産党夕張市議くまがい桂子さんは「安倍総理の退任は病気が理由と



してやむを得ないことだが、コロナ対策を見て「アベノマスク」にあらわれたように国民が望んでいることとかけはなれた感覚で、この7年8ヶ月を数の力で暴政を続けできた。このあと新内閣を立ち上げても安倍政治は変わらない」として「総選挙において市民と野党共闘をますます強め、勝利しましょう」と語りかけました。

市民と野党の共闘 広がる運動の輪 大会議案の説明で、熊谷泰昌事務局長は、この1年間の取り組みをたどりながら、昨年の参院選挙後の市民と野党の共同が、いろいろな形で展開され、「憲法共同センター」や「市民と野党の共同をすすめる10区の会」、「1市4町の会」、さらに「明日の平和をつくりだす夕張の会」などが南空知の連帯をより一層強めている実例を紹介しました。

激励、連帯のメッセージ届く 大会には厚谷司夕張市長、小林尚文市議会議長、さらに労働金庫夕張出張所長からメッセージが寄せられました。



くずさんの 夕張歴史散歩 (143)

明治維新57朝鮮植民地支配 ③

民族の独立へのうねりは大きく、朝鮮全土で死者約七千五百人、逮捕者約五万人という犠牲者を出しても、運動は広く深く浸みこみ参加者約二百万人を数えます。中でも、はやくもおきた女性のたたかいは、見逃せません。

はやくも女性の活躍

当時16歳の「柳寛順」(ユ・グァンスン)は、梨花学堂(現梨花女子大学校)の女学生でした。大学が休校にされると郷里の天安(チョナン)に帰り、独立の行動の先頭に立ちます。梅峰山で合図の烽火を上げ、翌4月1日市場の人達と村民とともに、独立行進を起こします。

この前に立ちあがった憲兵警察隊は「断固たる措置」として、やにわに発砲します。このなかで、彼女の両親を含む30人余が銃弾に倒れ、柳寛順も首謀者として逮捕されて懲役刑の判決を受けます。しかし「日本人に我々を裁く権利はない」と高らかに主張し、獄中闘争を続けるのです。

こうしてうら若い柳寛順は、過酷な拷問がもとで一九二〇年一〇月、ソウルの西大門の刑務所で獄死します。最後の言葉として残したのは「日本は必ず亡ぶ」と、伝えられます。歴史は彼女の言葉通り、日本は敗戦によって朝鮮植民地支配が滅ぶのです。

三・一独立運動の残した影響

澎湃(ほうはい)として起きた三・一独立運動は、日本政府・朝鮮総督府の銃火のもとで鎮圧されたとはいえ、朝鮮人民の独立の意志は、その後の韓国に生き続けています。

上海では国民主権を主張する「大韓臨時政府」が生まれますが、その理念は、韓国憲法前文に生かされています。訂正 前号の本文 最後から2行目「空手空拳」を「徒手空拳」と訂正。



紙智子「国会かけある記」 参議院議員

紙智子

震災、林業、種作りのこと

胆振東部地震の被災から2年目、9月5日は厚真町で献花し、鶴川町、安平町の仮設住宅を訪問しました。その後、液状化で宅地被害を受けた清田区に向かい要望をお聞きました。2年間、被災した皆さんの要望を聞き解決するために、頑張つてこられた地方議員の皆さん。苦難を解決するために私もともに頑張ります。

翌日は、札幌市手稲区で自伐型林業の皆さんから作業中の山を見せていただきながら自伐型林業の取り組みを学びました。札幌市に出没するクマが話題に、クマを山に戻すためにも人が山を手入れすることが重要であるとの意見で一致しました。

三日後の9日は、種苗法についての調査のため羽田から旭川に飛び、滝川市で北空知農民連の皆さんとの意見交換。翌日は「ヒマワリの里」北竜町まで移動し、北海道「種の会」の久田徳二会長や元北竜町農協組合長の黄倉良二顧問と合流。九州から駆けつけた田村貴昭衆院議員と私、畠山和也前衆院議員が参加して種苗法の改正や種作りについて話をお聞きました。なんといっても「幻の黒大豆」と呼ばれた「黒千石」の原種を発見し、復活に至る努力を重ねられてきたお話には深い感銘を受けました。当麻町では有機農法と種について聞きました。有機は、まさに自家採取、自家増殖によって成り立ってきただけに法改正による影響がでます。自家増殖によって農家は地域にあった種を作ってきました。環境に優しい農業の多様性を崩してはなりません。